

平成26年12月現在

## 略歴

氏名 鈴木則宏

生年月日 1952年（昭和27年）12月16日生

現職慶應義塾大学医学部神経内科・教授

慶應医師会会長

## 学歴

昭和 52 年 3 月 慶應義塾大学医学部 卒業

昭和 52 年 4 月 慶應義塾大学大学院医学研究科内科学専攻博士課程 入学

昭和 56 年 3 月 同課程 修了（医学博士）

昭和 61 年 9 月 スウェーデン ルンド大学医学部大学院入学（神経科学）

平成 元年 11 月 同 卒業（医学博士 Ph.D）

## 職歴

昭和 56 年 4 月 慶應義塾大学医学部内科学 助手

昭和 57 年 6 月 静岡赤十字病院神経内科 副部長

昭和 57 年 9 月 慶應義塾大学医学部内科学 助手

平成 3 年 4 月 水戸赤十字病院 第一内科部長 兼 神経内科部長

平成 9 年 4 月 水戸赤十字病院 副院長

平成 10 年 6 月 北里大学医学部内科学 専任講師

平成 11 年 7 月 北里大学医学部内科学 診療助教授

平成 14 年 4 月 北里大学医学部内科学 助教授

平成 15 年 4 月 北里大学医学部内科学 診療教授

平成 16 年 4 月 慶應義塾大学医学部内科学（神経内科） 教授

平成 19 年 10 月－平成 21 年 9 月 慶應義塾大学病院 副院長（兼務）

平成 21 年 10 月－慶應義塾医師会会長（兼務）

## 役職

### 【国内学会】

日本脳卒中学会代表理事（2015.3～）・カリキュラム委員会委員長・専門医試験委員会副委員長

日本頭痛学会代表理事（2014.11～）・専門医委員会委員長（2007～2014）・国際関係委員長（2009～2014）

日本内科学会評議員・理事（2010.4～2012.3）（2014.4～）・資格認定試験委員会委員長

(2012.4~

日本神経学会理事 (2004~)・編集委員会委員長・診療向上委員会副委員長・診療向上委員会委員長(2005~2010)・第53回日本神経学会学術大会大会長(2012)・財務委員長(2014~)

日本脳循環代謝学会理事・**理事長 (2008~2012)**・第23回日本脳循環代謝学会会長(2011)

日本微小循環学会理事 (2013.11~)・財務委員長

日本自律神経学会理事・保健委員会委員

日本神経治療学会評議員

日本認知症学会評議員

日本疼痛学会評議員

#### 【国際学会】

International Society of Cerebral Blood Flow and Metabolism

Board Member (2002-2006)

International Headache Society

Board of Trustees (2011- 2013)

#### 官庁関係

厚生労働省

厚生労働省 医師試験委員 (2004 - 2008)

厚生労働省 第102回医師国家試験副委員長(2008)

厚生労働省 第103回医師国家試験委員長 (2009)

医道審議会専門委員 (2008-2010)

厚生労働省保険医療専門審査員 (医療技術評価分科会委員) (2013~)

文部科学省・日本学術振興会

科学研究費委員会委員(2008- 2009, 2009-2010, 2012-)

JST 研究開発戦略センター(JST-CRDS) ライフサイエンス・臨床医学ユニット俯瞰委員  
(2012~ )

JST 卓越した大学院拠点形成支援補助金事業委員会委員 (2012~)

人事院

災害補償審査委員会委員(2010~)

#### 日本専門医機構

一般社団法人 日本専門医機構 基本領域 (内科) 専門医委員会委員 (2014.5~)

一般社団法人 日本専門医機構 基本領域 (内科) 研修委員会委員 (2014.5~)

## 専門医資格

日本内科学会認定総合内科専門医  
日本神経学会認定神経内科専門医  
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医  
日本頭痛学会認定頭痛専門医  
日本認知症学会認定認知症専門医

## 賞罰

平成 12 年度 第 33 回 財団法人三井厚生事業団医学研究助成受賞  
平成 22 年度 日本医師会医学研究奨励賞受賞  
平成 22 年度 Award of Neuroscience Research Top Cited Article 2008-2010  
平成 26 年度 第 34 回美原賞

## 主要研究領域

- ・脳血管障害の病態と治療
- ・神経血管単位（neurovascular unit）の機能解析と再生
- ・脳血管の神経支配
- ・片頭痛の発症機序
- ・片頭痛・認知症（アルツハイマー病）・神経変性疾患への神経伝達物質・受容体からのアプローチおよび iPS 細胞を用いた研究